

市立小中学校適正配置に係る保護者アンケートの実施について (案)

調査目的

市では、近年の児童・生徒数の急激な減少の状況を鑑み、市内全小中学校 19 校を対象とし、子どもたちにとってより良い学校環境を確保するため、市内の小中学校に就学しているお子さんの保護者を対象に、常総市小中学校の適正配置について、今後策定する小中学校適正配置実施計画に保護者の意見を反映させるためのアンケートを実施します。

調査方法

小学校・中学校に協力依頼を行い、茨城県電子申請システムのアンケート機能を活用し、アンケートを実施します (ログイン用の URL アドレス、2次元バーコード等を記載した通知文の配布を行います)。

なお、外国籍の方に対しては、ポルトガル語および英語に翻訳したアンケート用紙 (紙媒体) を、学校を通じて配布して、回収を行う予定です。

調査期間

配布：令和 3 年〇月〇日 (□) から令和 3 年〇月〇日 (□)

回収：令和 3 年〇月〇日 (□) まで

調査項目内容

- 回答者の属性 (居住校区、子どもの学年)
- 小中学校適正配置に関する意向
- 学校適正配置についての自由意見

問1 お住いの小学校区はどちらですか（市内19小学校区）

問2 お子さんの学年はどちらですか（就学前・小1～中3）※兄弟姉妹は複数選択。

問3 全国的にも子どもの数の減少がさらに進む予測がされています。今後、市が進めていく小中学校適正配置についてどのように思われますか
（理解できる・おおむね理解できる・理解できない・どちらともいえない）

問4 問3の理由で近いものを選んでください

統合するメリット

- ①集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多い
- ②切磋琢磨することなどを通じて、社会性や協調性、たくましさなどを育みやすい
- ③運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気が生まれやすい
- ④児童生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態が取りやすい

統合するデメリット

- ⑤学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配
- ⑥児童生徒の増加により、子どもたち一人ひとりの把握が難しくなりやすい
- ⑦学校行事や部活動などにおいて、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しにくい
- ⑧保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい

小規模校のメリット

- ⑨児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい
- ⑩学校行事や部活動などにおいて、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しやすい
- ⑪児童生徒相互の人間関係が深まりやすい
- ⑫異学年間の縦の交流が生まれやすい

小規模校のデメリット

- ⑬クラブ活動や部活動の種類が限定されやすい
- ⑭クラス替えが全部又は一部の学年で出来ないことから、人間関係や相互の評価などが固定しやすい
- ⑮運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に制約が生じやすい
- ⑯PTA 活動等における保護者一人あたりに負担が大きくなりやすい

問5 お子さんの通学する学校について学校適正配置は必要ですか
（すぐに必要、将来的には必要、必要はない、わからない）

問6 小中学校適正配置の枠組み案についてどう思われますか、近いものを選んでください
（理解できる、おおむね理解できる、理解できない、どちらともいえない）

問7 学校適正配置についてのご意見があればご自由に記述ください